

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月27日

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社 上場取引所 東
 コード番号 2002 URL <https://www.nisshin.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 瀧原 賢二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務本部広報部長 (氏名) 安達 令子 TEL 03-5282-6650
 四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	208,191	10.0	11,860	33.9	13,099	32.1	8,742	38.6
2023年3月期第1四半期	189,296	18.9	8,859	20.8	9,919	12.3	6,306	13.9

（注）包括利益 2024年3月期第1四半期 31,434百万円（73.7%） 2023年3月期第1四半期 18,096百万円（723.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	29.40	—
2023年3月期第1四半期	21.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	742,126	463,525	60.4
2023年3月期	713,874	438,499	59.4

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 448,465百万円 2023年3月期 423,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	20.00	—	21.00	41.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	410,000	5.5	19,000	19.3	19,200	11.5	12,500	—	42.03
通期	820,000	2.7	39,000	18.8	39,500	19.5	26,000	—	87.43

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、【添付資料】P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	304,357,891株	2023年3月期	304,357,891株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	6,970,626株	2023年3月期	6,979,939株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	297,379,840株	2023年3月期1Q	297,396,837株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当第1四半期連結累計期間の概況]

当第1四半期連結累計期間につきましては、行動制限の解除に伴う人流の増加やインバウンドの回復等、景気は緩やかに回復しております。一方、ウクライナ情勢等の影響を受けた原材料価格やエネルギー価格の変動等、当社グループを取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、小麦粉をはじめとする「食」の安定供給を確保し、各事業において安全・安心な製品をお届けするという使命を果たすとともに、昨年策定した「日清製粉グループ 中期経営計画2026」の達成に向けて、当期は、事業ポートフォリオの再構築によるグループ成長力の促進、食糧インフレへの対応、豪州製粉事業の業績回復、環境政策、デジタル戦略を最優先課題として取り組んでおります。

本年5月には、事業ポートフォリオの再構築によるグループ成長力の促進の一環として、製粉事業の子会社である日清製粉株式会社において、国際競争に対応できるローコスト生産体制構築に向け、水島工場の建設に着手しました。当工場は最新の自動化及びデジタル技術を導入し、環境配慮型のスマート工場とする予定であり、2025年5月頃の稼働を目指しております。また、これに伴い、同社岡山工場及び坂出工場を閉鎖する予定です。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、製粉事業における国内の麦価改定に伴う小麦粉価格改定の実施、熊本製粉株式会社の連結子会社化及び食品事業における加工食品事業等での製品価格改定の実施等により、2,081億91百万円（前年同期比110.0%）となりました。営業利益は、食品事業において医薬品原薬等の出荷減やインドイースト事業の立上げ費用の発生等があったものの、製粉事業において、国内における副産物のふすま販売価格の堅調な推移、豪州製粉事業の前期の減損損失計上に伴うのれん等の償却費の減少、中食・惣菜事業の堅調な業績等により、118億60百万円（前年同期比133.9%）、経常利益は130億99百万円（前年同期比132.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、87億42百万円（前年同期比138.6%）となりました。

(前年同期比較)

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	189,296	208,191	18,895	110.0%
営業利益	8,859	11,860	3,000	133.9%
経常利益	9,919	13,099	3,179	132.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	6,306	8,742	2,435	138.6%

[セグメント別営業概況]

① 製粉事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	96,949	111,672	14,723	115.2%
営業利益	3,727	6,870	3,143	184.3%

国内製粉事業につきましては、行動制限の解除に伴う人流の増加やインバウンドの回復等により、外食需要等が回復傾向にある中、拡販の取組みを進めたものの、製品価格改定に伴う需要の減退等により出荷は前年を下回りました。また、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で5.8%引き上げられたことに加え、エネルギー価格や物流費等が上昇していることも踏まえ、6月に業務用小麦粉の価格改定を実施しました。

海外製粉事業につきましては、豪州における製品価格改定及び米国子会社における為替換算の影響等により売上げは前年を上回りました。

この結果、製粉事業の売上高は、国内において昨年6月に実施した業務用小麦粉の価格改定、

本年1月に連結子会社化した熊本製粉株式会社の新規連結効果等も加わり、1,116億72百万円（前年同期比115.2%）となりました。営業利益は、国内製粉事業において、出荷が前年を下回ったものの、副産物のふすま販売価格の堅調な推移、熊本製粉株式会社の新規連結効果及び豪州製粉事業の前期の減損損失計上に伴うのれん等の償却費の減少等により、68億70百万円（前年同期比184.3%）となりました。

② 食品事業 (単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	46,736	49,756	3,020	106.5%
営業利益	2,896	2,281	△614	78.8%

加工食品事業につきましては、国内、海外ともに出荷は前年を下回りましたが、国内において原材料等のコスト上昇に伴う対応として、昨年から製品価格改定を継続して実施したことで、売上げは前年を上回りました。

酵母・バイオ事業につきましては、国内では、原材料価格やエネルギー価格の高騰を受け、昨年7月と11月及び本年4月にイーストの価格改定を実施したこと、海外では、昨年8月にインドイースト事業を開始したことにより、売上げは前年を上回りました。

健康食品事業につきましては、医薬品原薬等の出荷減により、売上げは前年を下回りました。

この結果、食品事業の売上高は、497億56百万円（前年同期比106.5%）となりました。営業利益は、医薬品原薬等の出荷減、インドイースト事業の立上げ費用の発生等により、22億81百万円（前年同期比78.8%）となりました。

③ 中食・惣菜事業 (単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	35,414	37,370	1,956	105.5%
営業利益	652	1,438	785	220.4%

中食・惣菜事業につきましては、行動制限の解除に伴う人流の増加やインバウンドの回復等による需要の回復、製品価格改定等により、売上高は、373億70百万円（前年同期比105.5%）と前年を上回りました。営業利益は、製品価格改定や生産性改善等により、14億38百万円（前年同期比220.4%）と前年を上回りました。

④ その他事業 (単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	10,195	9,391	△804	92.1%
営業利益	1,609	1,154	△455	71.7%

エンジニアリング事業につきましては、主力のプラントエンジニアリングにおける大型工事の減少により、売上げは前年を下回りました。

メッシュクロス事業につきましては、太陽光パネル向けスクリーン印刷用資材の出荷増により、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は93億91百万円（前年同期比92.1%）、営業利益はエンジニアリング事業における大型工事の減少等により、11億54百万円（前年同期比71.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年6月期	前期末差
流動資産	330,069	333,178	3,109
固定資産	383,805	408,947	25,142
資産合計	713,874	742,126	28,251
流動負債	150,262	146,788	△3,474
固定負債	125,112	131,812	6,699
負債合計	275,375	278,600	3,225
純資産合計	438,499	463,525	25,025
負債純資産合計	713,874	742,126	28,251

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況及び分析は以下のとおりです。

流動資産は3,331億78百万円で、原材料価格の上昇等による棚卸資産の増加等に伴い、前期末に比べ31億9百万円増加しました。固定資産は4,089億47百万円で、保有している投資有価証券の時価評価の増加等に伴い、前期末に比べ251億42百万円増加しました。この結果、資産合計は7,421億26百万円となり、前期末に比べ282億51百万円増加しました。

また、流動負債は1,467億88百万円で、未払法人税等の減少等に伴い、前期末に比べ34億74百万円減少しました。固定負債は1,318億12百万円で、繰延税金負債の増加等により、前期末に比べ66億99百万円増加しました。この結果、負債合計は2,786億円となり、前期末に比べ32億25百万円増加しました。純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、配当金の支出による減少、その他の包括利益累計額の増加等により、前期末に比べ250億25百万円増加し、4,635億25百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、小麦粉をはじめとする「食」の安定供給という社会的使命を果たすとともに、食の中心企業として成長を継続していくため、「日清製粉グループ 中期経営計画 2026」で掲げた目標の達成に向けて、当期は、事業ポートフォリオの再構築によるグループ成長力の促進、食糧インフレへの対応、豪州製粉事業の業績回復、環境政策、デジタル戦略を最優先課題としてグループ一丸となって取り組んでまいります。

2024年3月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

当期の配当につきましては、連結ベースでの配当性向40%以上を基準として配当を行う基本方針のもと、当初の予想どおり、前期より1円増額の1株当たり年間41円を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,971	75,666
受取手形、売掛金及び契約資産	107,887	107,156
有価証券	—	406
棚卸資産	128,786	134,268
その他	11,065	16,363
貸倒引当金	△641	△683
流動資産合計	330,069	333,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,134	73,111
機械装置及び運搬具(純額)	60,212	62,895
土地	52,618	53,040
使用権資産	17,060	17,930
その他(純額)	16,468	17,732
有形固定資産合計	217,494	224,710
無形固定資産		
のれん	7,496	7,173
その他	16,180	16,338
無形固定資産合計	23,677	23,512
投資その他の資産		
投資有価証券	124,653	142,389
その他	18,180	18,537
貸倒引当金	△200	△202
投資その他の資産合計	142,633	160,724
固定資産合計	383,805	408,947
資産合計	713,874	742,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,565	73,678
短期借入金	14,356	14,808
未払法人税等	8,941	2,978
未払費用	23,247	20,333
その他	29,150	34,988
流動負債合計	150,262	146,788
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	13,378	13,161
リース債務	37,311	39,247
繰延税金負債	22,097	27,220
修繕引当金	1,562	1,572
退職給付に係る負債	23,422	23,351
その他	7,341	7,257
固定負債合計	125,112	131,812
負債合計	275,375	278,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	12,728	12,731
利益剰余金	325,181	327,606
自己株式	△10,989	△10,973
株主資本合計	344,037	346,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,044	64,088
繰延ヘッジ損益	△13	523
為替換算調整勘定	28,352	37,926
退職給付に係る調整累計額	△588	△555
その他の包括利益累計額合計	79,795	101,983
新株予約権	44	40
非支配株主持分	14,621	15,019
純資産合計	438,499	463,525
負債純資産合計	713,874	742,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	189,296	208,191
売上原価	148,676	164,437
売上総利益	40,619	43,753
販売費及び一般管理費	31,759	31,892
営業利益	8,859	11,860
営業外収益		
受取利息	44	83
受取配当金	1,380	1,069
持分法による投資利益	112	376
その他	443	763
営業外収益合計	1,981	2,293
営業外費用		
支払利息	807	906
その他	114	148
営業外費用合計	921	1,054
経常利益	9,919	13,099
特別利益		
投資有価証券売却益	—	72
特別利益合計	—	72
特別損失		
固定資産除却損	54	80
商号変更関連費用	72	—
特別損失合計	126	80
税金等調整前四半期純利益	9,793	13,091
法人税等	3,137	3,999
四半期純利益	6,655	9,091
非支配株主に帰属する四半期純利益	349	348
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,306	8,742

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	6,655	9,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	11,957
繰延ヘッジ損益	159	447
為替換算調整勘定	10,901	9,682
退職給付に係る調整額	59	42
持分法適用会社に対する持分相当額	380	212
その他の包括利益合計	11,440	22,343
四半期包括利益	18,096	31,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,880	30,930
非支配株主に係る四半期包括利益	1,215	504

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	製粉	食品	中食・ 惣菜	計				
売上高								
外部顧客への売上高	96,949	46,736	35,414	179,100	10,195	189,296	—	189,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,933	457	1,254	6,645	731	7,377	△7,377	—
計	101,882	47,194	36,669	185,745	10,927	196,673	△7,377	189,296
セグメント利益	3,727	2,896	652	7,276	1,609	8,886	△26	8,859

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	製粉	食品	中食・ 惣菜	計				
売上高								
外部顧客への売上高	111,672	49,756	37,370	198,799	9,391	208,191	—	208,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,898	489	1,166	6,554	551	7,106	△7,106	—
計	116,570	50,246	38,537	205,354	9,942	215,297	△7,106	208,191
セグメント利益	6,870	2,281	1,438	10,590	1,154	11,744	115	11,860

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。